

(公社) 岐阜県理学療法士会・岐阜県主催 小児・障がい児(者)リハビリテーション専門研修 レポート

開催日：平成30年2月11日(日)、12日(月)

講師：中徹先生(群馬パース大学 保健科学部 教授)

小児理学療法の導入から展開へ2 ～ICFに沿った小児理学療法を進めるために身体の構造 と心身の機能の評価とアプローチの実際を学ぶ～

参加人数：43名(募集人数40名を超える申し込みがありました。)

この研修会は昨年に引き続き岐阜県委託事業として中徹先生をお招きして行われております。まず開催に先立ち岐阜県健康福祉部医療福祉連携推進課の上野尚哉様より「岐阜県における重症心身障がい児者の現状と在宅医療支援施策」というテーマで在宅重心身障がい児者の状況や課題、岐阜県の医療支援施策について話をして頂きました。

課題の中で家族が求めている医療サービスのトップがリハビリテーションですが、入り口となる小児を対象としたリハビリテーションを学んだ理学療法士等が少なく病院等においても受け入れが進まない現状があります。この研修を通して岐阜県で小児に関わるリハ職や施設が増えることを期待されていました。

次に中先生の講義では2日間にわたり、昨年度の復習から今回のテーマである小児の身体構造と機能の評価についてわかりやすく講義をして頂きました。また実技では明日から使える運動器、筋緊張へのアプローチ方法、心肺機能の評価方法を教えて頂きました。

来年度は「活動と参加の評価と介入を中心に」というテーマで講義して頂く予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

(学術局研修部部員 木沢記念病院 森直之)

